

令和 8 年度都市機能に係る調査検討業務公募型プロポーザル
第 1 回選定委員会 議事概要

1 日時

令和 8 年 6 月 22 日（月）

2 開催方法

書面による開催

3 出席者

【委員】都市計画部長（委員長）、都市魅力部次長、土木部次長、教育未来創生室長、
資産経営室長

【事務局】都市計画部計画調整室職員

4 議題

令和 8 年度都市機能に係る調査検討業務公募型プロポーザル実施要領等の承認について

5 議事概要

令和 8 年 6 月 26 日（金）を期限とし、各委員より意見書による意見の提出を求めた。
提出された意見書を踏まえ実施要領等の修正を行い、委員長一任により承認となった。
なお、各委員からの意見及び事務局の対応については別紙「各委員からの意見及び事務局対応」のとおりである。

6 備考

本委員会は、全委員に対して個別に説明及び意見書による意見の提出を求めたことから、令和 8 年度都市機能に係る調査検討業務公募型プロポーザル選定委員会設置要領第 5 条第 2 項に定める定足数を満たし、本会議が成立している。

各委員からのご意見及び事務局対応

対象

A:実施要領(案) B:募集要項(案) C:特記仕様書(案) D:審査評価項目・評価配点(案)

No.	対象	ご意見	事務局対応
1	B	P.4 誤記 (6) 質問の受付及び回答 イ 提出期間 令和8年6月 30 日(金)⇒(火) 因みにスケジュール表は(火)となっています。	失礼しました。修正いたしました。
2	C	P.2 仕様書では、「持続可能なまちづくりに向けた検討」において、有識者へ意見聴取を行い、その内容を業務へ反映することが求められています。 特に、本業務の内容を踏まえると、事業者がどのような専門家ネットワークを有しているか、又はどのような有識者を想定しているかによって、検討の深度や成果が大きく変わるものと考えます。 一方で、審査評価項目では、有識者への意見聴取よりも、アウトプットイメージや成果物に重点を置いた配点構成となっているように見受けられます。 成果物を重視することは、本業務の目的を踏まえると重要な視点であると考えますが、その前提となる有識者の選定や意見反映のあり方も重要な要素と思われますので、当該項目における配点を増やしてはどうでしょうか。	当該ご意見及び No.4 のご意見を踏まえ、「審査評価項目・評価配点(案)」の配点バランスを修正しました。
3	C	P.2 誤記 7業務内容 (1)ア 具体的な検討課題の抽出 カテゴリーとして整理することも可する。 ⇒可とする。	失礼しました。修正いたしました。
4	C	P.2 「(2)持続可能なまちづくりに向けた公共施設整備に係るケーススタディ」について、具体的にニュータウンエリアにおいて小中一貫校化を検討させる	ご意見を踏まえ、「募集要項(案)」、「特記仕様書(案)」、「審査評価項目・評価配点(案)」及び「様式6)同種業務実績書」に

No.	対象	ご意見	事務局対応
		と想起させる内容となっているように感じます。ケーススタディであることから、市が公表している個別施設計画(一般建築物)での記載に合わすなど、モデルケースの検討であることがわかるように修正してはどうでしょうか。	ついて、ニュータウンに関する記載を削除する等、内容を修正しました。